



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	119,045	3.1	7,121	4.3	8,549	20.9	5,757	92.0
29年3月期第1四半期	115,481	10.0	6,824	21.8	7,071	△15.2	2,998	△44.9

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 7,260百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △9,659百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	55.31	55.04
29年3月期第1四半期	27.76	27.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	535,297	357,350	64.2
29年3月期	537,180	353,517	63.5

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 343,687百万円 29年3月期 341,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		45.00	—	45.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	4.9	34,000	18.8	37,000	12.6	24,500	4.0	235.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.8(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	117,463,685 株	29年3月期	117,463,685 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	13,363,848 株	29年3月期	13,373,235 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	104,099,308 株	29年3月期1Q	108,035,401 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、政治、政策面での先行き不透明感が残る中、欧米での雇用環境の改善や個人消費の底堅さを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。また、アジアでは、中国の景気減速に歯止めがかかり、新興国の景気には持ち直しの動きが見られました。

国内においては、企業収益が好調に推移するとともに、株価の上昇を受けて個人消費も回復傾向となり、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような状況の中、当社グループは平成29年3月期からの5ヵ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比3.1%増の1,190億45百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比4.3%増の71億21百万円、経常利益は前年同期比20.9%増の85億49百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比92.0%増の57億57百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成29年3月期		平成30年3月期		対前年同期比	
	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	金額	%	
売上高	115,481	119,045	119,045	+3,564	+ 3.1	
営業利益	6,824	7,121	7,121	+ 296	+ 4.3	
経常利益	7,071	8,549	8,549	+1,477	+20.9	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,998	5,757	5,757	+2,758	+92.0	

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

① 日清食品

日清食品㈱の販売状況は、カップめん類、即席ライス類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、引き続き「カップヌードル」群の売上が好調であったことに加え、新たに発売した、こってりなのに、“脂質50%OFF” “糖質40%OFF” “カロリー178kcal” を実現した「カップヌードル ナイス」が売上増に貢献しました。また即席ライス類では平成28年8月に湯かけタイプにリニューアルした「カレーメシ」が引き続き好調であったことに加え、新たに発売した「カップヌードル ぶっこみ飯」、「チキンラーメン ぶっこみ飯」が売上増に貢献しました。利益については、広告宣伝費等の増加のため、前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比0.5%増の520億43百万円となり、セグメント利益は、前年同期比9.2%減の55億81百万円となりました。

② 明星食品

明星食品㈱の販売状況は、袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き売上を伸ばしたものの、カップめん類では、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズの売上が前年同期を下回ったことから、即席めん全体として減収となりました。利益につきましては、原価率の改善等により増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比2.5%減の97億43百万円となり、セグメント利益は、前年同期比55.6%増の6億18百万円となりました。

③ 低温事業

日清食品チルド類の販売状況は、ラーメン群の主力ブランド「行列のできる店のラーメン」や、冷し中華類が好調に推移しました。しかしながら、チルドめんの需要が低迷しており、市場環境も激化していることから、前年同期比で減収となりました。

日清食品冷凍類の販売状況は、具付きパスタ類、具付きラーメン類を中心に売上が伸長しました。パスタ類では、「牛挽肉とまいたけのクリーミーボロネーゼ」をはじめとする、もちっとした食感が特徴の「日清もちっと生パスタ」シリーズが引き続き好調でした。具付きラーメン類では、「辣椒担々麺」をはじめとする「冷凍 日清具多」シリーズが売上が伸びました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比5.8%増の158億46百万円となり、セグメント利益は、前年同期比4.2%増の6億20百万円となりました。

④ 米州地域

米州地域においては、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指しております。インフレが進んでいるブラジルでは価格改定が浸透しており、また平成28年9月に米国及びブラジルで「CUP NOODLES」のリニューアルを実施する等、市場のニーズに合った高付加価値商品の投入と、既存ブランドの売上と利益の確保に取り組んでおります。

このような取り組みから、米州セグメント全体としては増収となったものの、利益につきましては、広告費、拡販費の増加などにより前年同期をやや下回りました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比8.9%増の139億50百万円となり、セグメント利益は、前年同期比2.4%減の6億27百万円となりました。

⑤ 中国地域

中国地域においては、中国大陸市場での即席めん需要が減少する中、販売エリア拡大（華北・東北・西南地区）と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。売上については、為替変動や即席めん需要の低迷といった下押し要因がありながらも、前第4四半期連結会計期間より連結子会社化したMC Marketing & Sales (Hong Kong) Limitedの寄与もあり、増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比13.0%増の94億75百万円となり、セグメント利益は、前年同期比19.1%減の6億22百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比2.5%増の179億86百万円となり、セグメント利益は、前年同期比48.1%減の5億92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ18億82百万円減少し、5,352億97百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

資産の減少につきましては、主に有形固定資産が125億98百万円増加した一方、現金及び預金が134億78百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ57億15百万円減少し、1,779億47百万円となりました。これは主に未払法人税等が37億98百万円減少したこと及び流動負債のその他が21億88百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ38億32百万円増加し、3,573億50百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が30億79百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.5%から64.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に発表しました通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,919	57,441
受取手形及び売掛金	65,290	58,745
有価証券	1,155	1,154
商品及び製品	12,697	14,379
原材料及び貯蔵品	16,209	16,183
その他	11,999	14,391
貸倒引当金	△385	△369
流動資産合計	177,887	161,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,936	65,704
土地	52,748	53,034
その他(純額)	74,328	81,873
有形固定資産合計	188,013	200,611
無形固定資産		
のれん	30,464	28,737
その他	13,606	12,575
無形固定資産合計	44,070	41,312
投資その他の資産		
投資有価証券	120,136	124,990
退職給付に係る資産	335	311
その他	6,868	6,277
貸倒引当金	△132	△133
投資その他の資産合計	127,208	131,446
固定資産合計	359,293	373,370
資産合計	537,180	535,297
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,705	50,748
短期借入金	18,450	20,852
未払金	32,961	32,106
未払法人税等	7,926	4,127
その他	24,804	22,615
流動負債合計	135,847	130,451
固定負債		
長期借入金	15,867	14,556
退職給付に係る負債	7,346	7,290
その他	24,601	25,649
固定負債合計	47,815	47,496
負債合計	183,662	177,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	49,823	49,818
利益剰余金	308,074	309,241
自己株式	△58,190	△58,149
株主資本合計	324,830	326,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,794	26,873
繰延ヘッジ損益	-	2
土地再評価差額金	△6,382	△6,382
為替換算調整勘定	△1,403	△3,000
退職給付に係る調整累計額	218	161
その他の包括利益累計額合計	16,227	17,654
新株予約権	1,626	1,952
非支配株主持分	10,833	11,710
純資産合計	353,517	357,350
負債純資産合計	537,180	535,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	115,481	119,045
売上原価	63,267	65,166
売上総利益	52,213	53,878
販売費及び一般管理費	45,388	46,757
営業利益	6,824	7,121
営業外収益		
受取利息	193	186
受取配当金	662	667
持分法による投資利益	360	517
その他	153	254
営業外収益合計	1,370	1,625
営業外費用		
支払利息	92	98
為替差損	859	12
その他	170	86
営業外費用合計	1,123	197
経常利益	7,071	8,549
特別利益		
固定資産売却益	10	6
投資有価証券売却益	97	177
受取保険金	-	412
その他	-	34
特別利益合計	107	632
特別損失		
固定資産廃棄損	34	102
火災による損失	454	-
投資有価証券評価損	-	60
その他	7	4
特別損失合計	495	167
税金等調整前四半期純利益	6,683	9,014
法人税等	3,608	3,187
四半期純利益	3,075	5,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,998	5,757

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	3,075	5,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,644	3,022
繰延ヘッジ損益	△265	2
為替換算調整勘定	△5,514	△1,840
退職給付に係る調整額	790	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	△100	312
その他の包括利益合計	△12,734	1,433
四半期包括利益	△9,659	7,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,718	7,185
非支配株主に係る四半期包括利益	58	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日または仮決算日が12月31日であったニッシンフーズアジア PTE. LTD. 等の連結子会社7社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更または連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	51,775	9,992	14,975	12,805	8,382	97,931	17,549	115,481	—	115,481
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	305	1,610	384	0	45	2,347	6,953	9,301	△9,301	—
計	52,081	11,602	15,360	12,805	8,428	100,278	24,503	124,782	△9,301	115,481
セグメント利益	6,146	397	595	642	770	8,552	1,142	9,694	△2,870	6,824

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,870百万円には、退職給付関係費用△1,097百万円、のれんの償却額△488百万円、セグメント間取引消去等△119百万円、グループ関連費用△1,165百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	52,043	9,743	15,846	13,950	9,475	101,058	17,986	119,045	—	119,045
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	175	1,234	349	1	27	1,788	6,807	8,596	△8,596	—
計	52,218	10,977	16,195	13,952	9,502	102,846	24,794	127,641	△8,596	119,045
セグメント利益	5,581	618	620	627	622	8,071	592	8,664	△1,542	7,121

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,542百万円には、退職給付関係費用152百万円、のれんの償却額△418百万円、セグメント間取引消去等△110百万円、グループ関連費用△1,166百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。